

【複数年度】高付加価値な地域版MaaSの実現に向けたカシマサッカースタジアム試合時におけるバス優先走行社会実験(茨城県)

1. 実験概要、留意すべき事項

- 試合開催日の自動車来訪に伴う交通集中により、県外からの来訪者に抵抗感を生じさせ、カシマサッカースタジアムの集客に影響を与えている。スタジアムから潮来IC間でバスを優先走行させるためのバスレーンとバス優先区間の設置実験を行い、その効果を検証する。
- 他の渋滞対策との組み合わせを考慮したMaaS構築を視野に入れていること。

2. 今年度の実験内容、実験結果

【バスの優先化対策】

- ① スタジアム～潮来IC間におけるバス専用レーンの設置
- ② 当該区間の試合開催時の所要時間⇒120分(通常15分)

【一般車の利用抑制策】

- ① パークアンドバスライドの実施
- ② 一般車来訪者への相乗り促進

新型コロナウイルス影響により、3月15日までのすべての公式戦の開催が延期されたため、今年度の現地実証実験(3月8日実施予定)は延期



バス優先化対策の概要



一般車の利用抑制対策の概要

【複数年度】高付加価値な地域版MaaSの実現に向けたカシマサッカースタジアム試合時におけるバス優先走行社会実験(茨城県)

3. 次年度の社会実験に向けて

今年度予定している社会実験(令和2年3月8日実施予定⇒延期)の内容を踏襲しつつ、より公共交通(バス利用)の促進を進めるための改善策を検討する。

実験メニュー	実験内容
バスの優先化対策	・ 茨城県立カシマサッカースタジアム～潮来IC間におけるバス専用レーンの設置
一般車利用抑制策	・ 前川運動公園におけるパークアンドバスライドの実施 ・ 一般車来訪者への相乗り促進 ・ 地域版MaaSに向けた情報提供 1. チケット販売と合わせてP&BR駐車場や高速バス(予約)など公共交通手段の情報共有が可能な情報提供 2. チケット販売とP&BR駐車場や高速バス予約が一括管理できるシステム構築に向けた調整(要検討)

4. 次年度のスケジュール

- 令和2年3月:社会実験の実施(延期)
- 令和2年3～8月:社会実験計画の改良案の検討
- 令和2年9月:社会実験の実施(予定)

新型コロナの影響により、
スケジュールを見直し中

5. 評価

- ・ 次年度には、Maasの構築に向けて、観戦チケットや交通手段だけでなく、宿泊や飲食も一括予約できる方法等を実験に取り入れる予定であり、継続して実験を行うことが妥当と考える。

【複数年度】高付加価値な地域版MaaSの実現に向けたカシマサッカースタジアム試合時におけるバス優先走行社会実験(茨城県)

6. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
トイレが充実していることや荷物を預けることができるなど、二次的な検討が必要である。	スタジアム構内外に男女合わせて46箇所にトイレが整備されている。現在、荷物を預かる窓口はない。
車で来た人が、バスレーン区間に入らないで済む工夫の検討が必要である。	事前に社会実験の実施区間内外に周知看板を設置し、道路利用者に周知する。また、ポスター・チラシ配布により事前周知を実施する。 第1車線(一般車走行車線)と第2車線(バスレーン)間にポストコーンを5m程度の間隔で設置し、一般車の車線変更を規制する。 バスレーン区間の各主要交差点に誘導員を配置し、交通誘導を実施する。
広報活動と周知が必要である。	事前に社会実験の実施区間内外に周知看板を設置し、道路利用者に周知する。また、ポスター・チラシ配布により事前周知を実施する。
社会実験実施区間(約8.2km)において、「バス専用レーン」を設けた際に30台から100台程度のバス増便では、理解されないのではないかと。相乗りを促し、協力車両はバス専用レーンを利用可能とするなど、しっかりとシミュレーションを実施することが必要である。	パーク&バスライドを実施することでバスの増便に対応する。 相乗り促進は広報の中で実施するとともに、将来的な相乗り車両優先化策について検討する。
交通量、旅行速度、時間、利用者の変化など「数値目標」をしっかりと設ける必要がある。	事前調査(キリンカップ開催日等)におけるデータとシミュレーション結果から、「数値目標」を設定する。
観戦チケット購入と公共交通利用をセット販売できるような「からくり」も必要である。例えば、料金だけではなく、本実験に協力いただければ、観戦席が優遇されるなど。	セット販売等が可能かどうかを鹿島アントラーズ側と調整する。
選手から、ファンに実験協力を呼びかけてもらうなどの広報も重要である。	選手起用の可能性について鹿島アントラーズ側と調整する。なお、広報PR動画には鹿島アントラーズCROの中田浩二さんを起用予定である。
電子通貨の活用による「交通→食事→観戦」の一元化がMaaSとなるように整理してみようかどうか。	将来的には地域版MaaSの実現に向けて、電子通貨の活用等を含めて検討する。
実験協力依頼のチラシは、再考が必要である。	試合開催日の来場者にどのような行動をとってほしいのか(公共交通利用、相乗り促進)がわかるよう、チラシを再構成する。